

## タイムテーブル

8:50~9:00	<b>開会の辞</b> 代表世話人：工藤 正俊 (近畿大学医学部 消化器内科学) 当番世話人：斎藤 明子 (東京女子医科大学消化器病センター 消化器内科)			
9:00~9:38	<b>分子標的治療の CR/PR 例, long SD 例</b>			
口演 1	01-1	ソラフェニブ治療にて CR、PR、longSD (1 年以上 SD 以上) が得られた進行肝細胞癌症例の検討	葛谷 貞二 (名古屋大学 消化器内科)	<b>【座長】</b> 市田 隆文 (湘南東部総合病院) 松田 政徳 (山梨大学医学部 第一外科)
	01-2	分子標的治療薬の CR/PR 例の特徴と経過	田中 弘教 (兵庫医科大学 肝胆膵内科 超音波センター)	
	01-3	進行肝細胞癌に対するソラフェニブ治療における長期生存例の検討	山根 敬子 (北里大学医学部 消化器内科学)	
	01-4	Sorafenib 開始後、3 年以上生存例の特徴	小尾 俊太郎 (公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院 消化器肝臓内科)	
	01-5	低分化型肝細胞癌切除後早期の肝内外の広汎な再発に対してソラフェニブ単独治療が奏効し、2 年以上継続投与中の症例	松田 政徳 (山梨大学 第一外科)	
9:40~10:06	<b>STORM 試験後の治療戦略</b>			
口演 2	02-1	進行肝細胞癌再発高危険群に対する術後補助療法導入と有害事象対策	波多野 悦朗 (京都大学 肝胆膵・移植外科 皮膚科)	<b>【座長】</b> 國土 典宏 (東京大学医学部 肝胆膵・人工臓器移植外科) 田中 正俊 (ヨコクラ病院 内科)
	02-2	ソラフェニブ投与後長期生存例の検証～切除を含む集学的治療の重要性～	山田 眞一郎 (徳島大学 消化器・移植外科)	
	02-3	進行肝細胞癌に対する Sorafenib 導入後の外科的治療介入の有用性	武山 秀晶 (熊本大学 消化器外科)	
10:07~10:25	<b>TACE 不応と分子標的治療</b>			
口演 3	03-1	BCLC Intermediate stage におけるソラフェニブの役割	森本 直樹 (自治医科大学 消化器・肝臓内科)	<b>【座長】</b> 高山 忠利 (日本大学医学部 消化器外科)
	03-2	TACE 不応・不能症例における集学的治療戦略	土谷 薫 (武蔵野赤十字病院 消化器科)	

<p>10:25~11:40</p> <p style="text-align: center;">共催 シンポジウム</p>	<p><b>共催シンポジウム</b>  (共催：バイエル薬品株式会社)  「TACE 不応の定義により肝癌の治療はどう変わったか」</p>			<p><b>【司会】</b>  <b>大崎 往夫</b>  (大阪赤十字病院 消化器科)  <b>田中 克明</b>  (横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器内科)  <b>【ディスカッサー】</b>  <b>土谷 薫</b>  (武蔵野赤十字病院 消化器科)  <b>近藤 正晃</b>  (横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター)  <b>森本 直樹</b>  (自治医科大学 消化器・肝臓内科)</p>
<p>SS-1</p>	<p>cTACE の現状・限界と TACE 不応の定義  - DEB-TACE の位置付けも含めて -</p>	<p><b>宮山 士朗</b>  (福井県済生会病院 放射線科)</p>		
<p>SS-2</p>	<p>TACE 不応後のソラフェニブと TACE の比較</p>	<p><b>小笠原 定久</b>  (千葉大学医学部 消化器・腎臓内科 臨床腫瘍部)</p>		
<p>SS-3</p>	<p>TACE 不応後のソラフェニブと肝動注化学療法の比較</p>	<p><b>池田 公史</b>  (独立行政法人 国立がん研究センター 東病院 肝胆膵内科)</p>		
<p>11:50~12:40</p> <p style="text-align: center;">ランチョン セミナー</p>	<p><b>ランチョンセミナー</b>  (共催：エーザイ株式会社)  「ビーズ導入後の肝動脈化学塞栓療法の進化」</p>		<p><b>【司会】</b>  <b>池田 健次</b>  (虎の門病院 消化器科)</p>	
<p>LS-1</p>	<p>内科の立場から</p>	<p><b>川村 祐介</b>  (虎の門病院 肝臓センター内科)</p>		
<p>LS-2</p>	<p>外科の立場から</p>	<p><b>高橋 豊</b>  (東京女子医科大学 消化器外科)</p>		
<p>12:50~13:50</p> <p style="text-align: center;">特別講演</p>	<p><b>特別講演</b>  (共催：日立アロカメディカル株式会社)  「Genomics of liver tumors: from mechanism of malignant transformation to therapeutic targets」  <b>司会：</b>小池 和彦 (東京大学医学部 消化器内科)  齋藤 明子 (東京女子医科大学消化器病センター 消化器内科)  <b>演者：</b>Jessica Zucman-Rossi, MD, PhD  (University Paris Descartes, The Inserm Unit "Functional Genomic of Solid Tumors")</p>			
<p>13:50~14:10</p> <p style="text-align: center;">宿題報告</p>	<p><b>宿題報告</b>  「ソラフェニブ著効例のバイオマーカーその後」  <b>司会：</b>金子 周一 (金沢大学大学院医学系研究科 恒常性制御学)  溝上 雅史 (国立国際医療センター 肝炎・免疫研究センター)  <b>演者：</b>西尾 和人 (近畿大学医学部 ゲノム生物学)</p>			

14:20~15:20	ポスターセッション (ポスター会場)		
ポスターセッション A	分子標的治療の基礎と臨床応用		<b>【座長】</b> 有井 滋樹 (浜松労災病院) 坂元 亨宇 (慶応義塾大学医学部 病理学)
	P1-1	ASPH 阻害剤の肝細胞癌に対する前臨床試験	藍原 有弘 (東京医科歯科大学 肝胆膵・総合外科)
	P1-2	肝細胞癌に対する Polo-like kinase を標的とした治療の可能性	竹崎 由佳 (高知大学 外科学 1)
	P1-3	血清糖鎖マーカーによるソラフェニブ治療効果および予後予測の可能性	足立 卓哉 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓内科学)
	P1-4	A Phase I, open-label, non-randomized trial of OPB-31121, a STAT3 inhibitor, in patients with advanced hepatocellular carcinoma	尾阪 将人 (がん研有明病院)
	P1-5	EOB-MRI による Wnt/ $\beta$ -catenin activated subtype HCC の検出能に関する検討	上野 彰久 (国立病院機構埼玉病院放射線科)
	P1-6	生検で c-kit 陽性を確認し“分子標的”薬ソラフェニブを投与し、高い治療効果を得た c-kit 強陽性肝癌の一例	清野 智 (新潟大学医歯学総合病院消化器内科)
P1-7	5-FU による肝線維化増悪因子 TGF $\beta$ 1 の発現制御と Sorafenib の効果	和田 美希 (東邦大薬・病態生化学教室)	
ポスターセッション B	副作用と合併症 (症例報告)		<b>【座長】</b> 飯島 尋子 (兵庫医科大学 内科学肝胆膵科・超音波 センター)
	P2-1	ソラフェニブにより横紋筋融解症をきたした 1 例	田邊 規和 (山口大学大学院医学系研究科 消化器 病態内科学)
	P2-2	ソラフェニブによる薬剤性肺障害が疑われた 1 例	山本 健太 (豊橋市民病院 消化器内科)
	P2-3	Sorafenib 投与中に症候性の急性膵炎を発症した 1 例	浅木 彰則 (国立病院機構 四国がんセンター)
	P2-4	進行肝細胞癌に対してソラフェニブ内服中に発症した右耳介有棘細胞癌の 1 例	程塚 正則 (鳥取大学医学部機能病態内科学)
	他疾患の合併・併存 (症例報告 他)		<b>【座長】</b> 岡 博子 (医療法人成和会 ほうせんか病院)
	P3-1	ソラフェニブ治療を行った混合型肝癌の 3 症例	田尻 和人 (富山大学附属病院第三内科)
	P3-2	慢性リンパ球性白血病に併発した乳房 Paget 病, 肝細胞癌の治療経験	浦上 秀次郎 (国立病院機構東京医療センター外科)
P3-3	PD にてソラフェニブ投与中止後、急速な進行を認めた肝細胞癌の 1 例	岡本 敏明 (鳥取大学医学部附属病院 機能病態内科学)	
P3-4	進行肝細胞癌合併肝硬変症例に対するソラフェニブ投与の肝線維化と門脈血流改善の可能性	松井 太吾 (東邦大学医療センター大森病院 消化器内科)	

ポスター セッション C	高齢者に対する投与効果と安全性		【座長】 島田 光生 (徳島大学大学院 ヘルス バイオサイエンス研究部 消化器・移植外科学)	
	P4-1	高齢者の進行肝細胞癌に対する当院でのソラフェニブ治療の成績		有住 忠晃 (近畿大学 消化器内科)
	P4-2	後期高齢者肝細胞癌症例に対するソラフェニブ治療		平岡 淳 (愛媛県立中央病院消化器病センター 内科)
	P4-3	高齢者進行肝がん症例に対する分子標的治療薬の有効性を旨指して		守屋 圭 (奈良県立医科大学 第三内科 (消化器・内分泌代謝内科))
	P4-4	ソラフェニブ 400mg 開始の有効性と安全性について: 多施設共同研究における Propensity score-matched analysis		小林 智 (神奈川県立がんセンター消化器内科)
	分子標的薬の投与法		【座長】 石井 浩 (がん研究会有明病院 消化器内科)	
	P5-1	切除不能肝細胞癌に対するソラフェニブ療法における体重当たり一日平均投与量に関する検討		遠藤 正嗣 (大阪赤十字病院消化器内科)
	P5-2	当科におけるソラフェニブの治療成績と学習効果		北原 征明 (金沢大学附属病院 消化器内科)
	P5-3	進行性肝癌に対する TACE・ネクサバールの Combination Therapy の有効例の検討	清水 弘仁 (湘南藤沢徳洲会病院肝胆膵センター)	

ポスターセッション D	高度進行肝癌における奏効例（症例報告）		【座長】 日野 啓輔 (川崎医科大学 肝胆臓内科学) 長谷部 千登美 (旭川赤十字病院 消化器内科)	
	P6-1	ソラフェニブと放射線治療により切除可能となった両葉多発肺転移、門脈・下大静脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌の一例		北嶋 俊寛 (京都大学 肝胆臓・移植外科)
	P6-2	門脈腫瘍塞栓、下大静脈浸潤、右房内浸潤、肺転移を認めた肝細胞癌に対してソラフェニブと TACE による併用治療が奏功した一例		谷本 博徳 (新小倉病院 肝臓病センター)
	P6-3	分子標的薬を含む集学的治療により、長期生存している 2 例		山本 訓史 (東京大学肝胆臓外科)
	P6-4	肝細胞癌、多発腹膜播種に対し副作用なく長期生存をえた高齢者の一例		梶原 崇弘 (日本大学消化器外科)
	P6-5	集学的治療により初発から 14 年、ソラフェニブ開始から 3 年の長期生存が得られている肝細胞癌の 1 例	高森 頼雪 (帝京大学医学部 内科)	
	遅発性奏効例と早期反応例（症例報告）		【座長】 能祖 一裕 (岡山大学分子肝臓病学 消化器内科)	
	P7-1	ソラフェニブが投与 3ヶ月目から著効した腫瘍径 15cm 門脈腫瘍栓合併塊状型肝細胞癌の 1 例		山下 信吾 (東京女子医科大学 消化器外科)
	P7-2	TACE 不応肝内多発肝細胞癌に対して開始 6ヶ月後にソラフェニブが奏効した一例		和田 浩志 (大阪大学 消化器外科)
	P7-3	ソラフェニブの長期内服により遅発性奏効が得られた肝細胞癌肺転移の 1 例		富山 恭行 (川崎医科大学肝胆臓内科学)
P7-4	新規分子標的薬が著効し興味深い経過を示した肝細胞癌の 1 例	西島 規浩 (大阪赤十字病院消化器内科)		
ポスターセッション E	ソラフェニブと動注化学療法		【座長】 山下 竜也 (金沢大学医学部 消化器内科) 黒川 典枝 (山口労災病院 消化器科)	
	P8-1	肉眼的脈管侵襲を有する進行肝細胞癌に対する New FP 療法と Sorafenib の比較		新関 敬 (久留米大学病院消化器内科)
	P8-2	進行肝細胞癌に対してソラフェニブと抗癌剤肝動注療法のどちらを先行させるのがよいか？		和田 幸之 (国立病院機構九州医療センター 肝胆臓外科、臨床研究センター)
	P8-3	Sorafenib Failure に対する IFN 併用 5FU 動注療法の成績		佐藤 新平 (佐々木研究所附属 杏雲堂病院 消化器肝臓内科)
	P8-4	ソラフェニブ不応後のシスプラチン肝動注化学療法の有効性と安全性の検討	小林 美沙樹 (国立がん研究センター東病院薬剤部)	
	肝外転移に対する効果		【座長】 熊田 卓 (大垣市民病院 消化器科)	
	P9-1	肝外転移を有する進行肝細胞癌における予後因子の検討		永松 洋明 (公立八女総合病院 肝臓内科)
	P9-2	肝外転移例での分子標的薬の有効性と生命予後の検討		青木 智子 (兵庫医科大学 超音波センター)
	P9-3	肝細胞癌に対する Sorafenib 治療は TACE 不応と肝外転移ではどちらが有効となり得るか？	片桐 聡 (東京女子医科大学 消化器外科)	

ポスターセッション F	長期生存例の検討		【座長】 古瀬 純司 (杏林大学医学部 腫瘍内科) 黒松 亮子 (久留米大学医学部 消化器内科)
	P10-1	ソラフェニブ導入後長期生存例の検討	打田 佐和子 (大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学)
	P10-2	ソラフェニブ内服後集学的治療にて長期生存が得られた5例の検討	澤田 康司 (旭川医科大学 消化器・血液腫瘍制御内科)
	P10-3	進行肝細胞癌に対するソラフェニブ治療における長期生存例の検討	渡部 直樹 (岐阜市民病院消化器内科)
	P10-4	当院における進行肝細胞癌に対するソラフェニブの治療成績—特に腫瘍マーカーと投与期間との相関についての検討—	角田 裕也 (横浜市立市民病院)
	P10-5	ソラフェニブ長期投与と症例の検討	多田 俊史 (大垣市民病院 消化器内科)
	長期生存例、奏効例（症例報告）		【座長】 石川 哲也 (名古屋大学医学部 消化器内科)
	P11-1	ソラフェニブに TACE を併用し、長期生存中の肝細胞癌の 1 例	奥野 奈央 (独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター)
	P11-2	ソラフェニブ投与開始後 2 年以上生存中の 3 例	大場 範行 (静岡県立総合病院外科)
	P11-3	短期間の Sorafenib 投与が肝細胞癌縦隔リンパ節転移からの気管支浸潤、肺静脈腫瘍栓に有効であった 1 例	廿楽 裕徳 (順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科)
15:30~17:00	特別企画「肝細胞癌の臨床試験はなぜ上手くいかないのか」		【司会】 工藤 正俊 (近畿大学医学部 消化器内科学) 沖田 極 (下関厚生病院)
特別企画	肝細胞癌の新薬開発の現況と展望		奥坂 拓志 (国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科)
	肝細胞癌の臨床試験：Endpoint と Trial Design への問題提起		上嶋 一臣 (近畿大学 消化器内科)
	Personalized Medicine に向けての新しい統計解析法： Enrichment Analysis による患者層の特定化		竹内 正弘 (北里大学薬学部臨床医学 臨床統計学・医薬開発学)
	肝細胞癌の新薬承認を巡る諸問題： 本邦における臨床試験計画の留意点		寺島 健志 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA))
	特別発言		幕内雅敏 (日本赤十字社医療センター)
17:00~	閉会の辞  当 番 世 話 人：齋藤 明子 (東京女子医科大学消化器病センター 消化器内科) 次回当番世話人：日野 啓輔 (川崎医科大学 肝胆膵内科学)		